

なく、枯れて、死んでいました。芽を出した杖はどれ

であれ神によって選ばれた杖でした。ここで私たち

が見るのは、復活が神の選びの根拠であるとい

うことと、奉仕の根拠が私たちの天然の命の外にある

ものであるということです。こういうわけで、芽を出した

杖が表徴するのは、私たちが復活のキリストを経験

して、神に受け入れられ、神の与えられた務めにお

いて権威を持つということです。3 あらゆる奉仕の原

則は、芽を出した杖にあります。神は十一本の杖を

すべて族長たちに戻しましたが、アロンの杖を契約

の箱の中に保存し、永遠の記念としました。これが

意味するのは、復活が神に対する私たちの奉仕に

おける永遠の原則であるということです。4 杖が芽を

出すことは、へりくだらせる経験です。杖は人の地

位を表徴し、芽を出すことは復活の命を表徴します。

ですから、愚かな者だけが高ぶり、自分は他の人より

もまさっていると言うのです。5 復活が意味するのは、

すべてのものが神からであって、私たちからではな

いということです。それが意味するのは、ただ神だけ

ができ、私たちはできないということです。復活を認

識している人はみな、自分自身にある望みを放棄

しており、自分ができないということを知っています。

6 天然の力が残っている限り、復活の力は現される

ことができません。サラが自分で子供を産むことが

できたとしたら、イサクは生まれることはなかったで

しょう。7 私たちができることは、天然の領域に属

します。私たちができないことは、復活の領域に属

します。復活は、私たちをはるかに超えていることであ

り、私たちが自分自身ではできないことです。マタイ

19:26 イエスは... 言われた、「それは人にはできない

が、神にはすべての事ができる」。8 人は自分自身

が終わらされなければなりません。そうしてはじめて、

人は自分が全く役に立たないことを確信します。人

は自分自身ではできないということを認識したことが

ないなら、神ができるということを経験することは決

してできません。復活が意味するのは、私たちがで

きないということと、神が私たちの中で、私たちを通

して、私たちのために、すべてのことを行なっている方

であるということです。9 クリスマスであることは、た

だ難しいだけではありません。それは不可能です。す

べてを含む霊として私たちの中に生きている、手順

を経て究極的に完成された三一の神だけが、クリ

スマスであることができます。その霊だけが、クリ

スマスであることができ、その霊だけが勝利者である

ことができます。G 私たちは自分の天然の命によ

って生きないで、内側の神聖な命によって生きるとき、

復活の中にいます。この結果はキリストのからだ

です。1 私たちはみな、主によって弟子とされて、神聖

で奥義的な人となり、自分の天然の命を否むことに

よって神聖な命を生きる必要があります。**2**聖書的に行なわれていても、天然の命において行なわれる事は何であれ、キリストのからだの実際ではありません。**f**私たちは復活の中で生活するために、復活の神を知り、経験し、得なければなりません。**1**神は十字架を通して働いており、私たちを終結させ、私たちを終わりへともたらしめます。それは、私たちがもはや自分自身に信頼するのではなく、復活の神に信頼するためです。**2**生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます。**a**神が働いているのは、外面の行為によって彼の権能を知らせるためではなく、ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです。**b**神は環境を用いて、ご自身の命と性質を私たちの中へと造り込みます。**c**私たちは復活の中で生活して、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して、神の長子であるキリストのかたちに同形化されなければなりません。**d**この宇宙における苦難のおもな目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれて、人が最も満ち満ちた程度にまで神を得ることです。**e**私たちは患難を経過するとき、日ごとに私たちの中で継続的な更新が起こる必要があります。それによって、神はご自身の心の願いを完成して、私たちを新エルサレムとすることができます。**2コリ4:16** こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。**3**私たちは復活の中で生活するために、復活の命の新鮮な供給で養われることによって、日ごとに更新されなければなりません。**4**真のクリスチャン生活は、朝と夕に、日ごとに、復活の神が私たちの中へと加えられることです。**コロ2:19** かしらに結び付いて... この方から、からだ全体は、...豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。**5**私たちは復活の中にある神聖な命の更新する能力を受けのために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼に私たちの中へと入って来ていただき、日ごとに私たちの中へと新しく増し加わっていただく必要があります。**1**私たちは一粒の麦としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます。**A**キリストの神性と彼の神聖な命との栄光は、一粒の麦としてのキリストの中に隠されていました。**B**彼の神性の栄光が彼の人性の殻によって隠されていたとき、彼は圧迫され抑制されて、彼の死のバプテスマをもってバプテスマされ、彼の神性の栄光が彼の神聖な命の火と共に解き放たれることを切望していました。**C**キリストの神性の栄光を解き放つことは、

彼の死によって彼の人性の殻を砕くことを通してでした。**1**彼は、彼の神聖な命と神聖な栄光を含む唯一の麦粒でした。**2**彼の人性の殻が彼の十字架を通して砕かれたとき、彼の神性のすべての要素(彼の神聖な命と神聖な栄光)が解き放たれました。**3**この意味で、彼の死は命を解き放つ死であり、同時に彼の栄光が解き放たれると考えられます。**D**キリストの神性の栄光を解き放つことは、彼の死を通して、復活の中で、御父によって、神聖な栄光をもって、キリストの栄光が現されることでした。**ヨハネ 12:23** イエスは彼らに答えて言われた、「人の子の栄光が現される時が来た。**24** まことに、まことに、私はあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。**E**キリストは彼の人の生活において、彼の御父が彼の栄光を現すようにこと祈り、御父は彼の祈りに答えました。**F**そのように栄光を現すことは、キリストを肉体と成った時期から包括の時期に移し、その中で彼は最後のアダムとして、復活の中で命を与える霊と成りました。**G**キリストは一粒の麦として、彼の命を解き放つ死と命を分与する復活を通して、すべての信者を、手順を経た三一の神との合併の中へともたらしめました。**1**神は彼の神聖な三一において合併です。**2**究極的に完成された三一の神と再生された信者たちは、キリストの復活の中で合併となりました。**H**キリストの復活の中で、手順を経た三一の神と再生された信者たちとの拡大された、神性と人性の、宇宙的な合併が、変貌した一粒の麦としてのキリストから生み出され、それには以下の三つの面があります。**1**第一の面は御父の家であり、御父の安息、満足、現れのためです。**a**キリストにあるすべての信者は、御父の家の中の住まいです。**b**御父の家が建造されるのは、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによってです。**2**第二の面はまことのぶどうの木であり、神の拡大、広がり、栄光を現すことのためです。**a**まことのぶどうの木は、すべてを含むキリストのしるしであり、手順を経て究極的に完成された三一の神の有機体です。**b**その接ぎ木された枝は神聖な命をもって再生され、十字架につけられ復活したキリストとの命の結合の中へともたらされ、手順を経て究極的に完成された三一の神と合併されました。**3**第三の面はその霊の子供、新しい人であり、神の永遠のエコノミーを完成します。**a**新しい子供、新しい人は、究極的に完成された霊によって生まれました。**b**私たちが思いの霊の中で更新されることによって新しい人を着ることは、最終的にキリストのからだを究極的に完成し、このキリストのからだは新エルサレムを究極的に完成します。

**CP1** 患難の中で復活の神を知り、経験し、  
神を得る。復活の神が働くと、  
彼の命と性質は人の中へと造り込まれる

**I** 私たちは復活としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます **F** 私たちは復活の中で生活するために、復活の神を知り、経験し、得なければなりません。2コリント1:8 兄弟たちよ、アジアで私たちに降りかかった患難について、あなたがたに知らずにいてもらいたくありません。すなわち、私たちは極度に、耐えられないほどに圧迫されて、生きる望みをさえ失ったほどです。9 実に、私たちは自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました。それは、私たちが自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした。2 生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くと、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます。a 神が働いているのは、外面の行為によって彼の権能を知らせるためではなく、ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです。b 神は環境を用いて、ご自身の命と性質を私たちの中へと造り込みます。c 私たちは復活の中で生活して、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して、神の長子であるキリストのかたちに同形化されなければなりません。d この宇宙における苦難のおもな目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれて、人が最も満ち満ちた程度にまで神を得ることです。e 私たちは患難を経過するとき、日ごとに私たちの中で継続的な更新が起こる必要があります。それによって、神はご自身の心の願いを完成して、私たちを新エルサレムとすることができます。

苦難の意義とは...旧創造に破壊をもたらし、復活の神がご自身を彼の被造物の中へと分け与える機会を与えるということです。...この宇宙における苦難のおもな目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれるということです。...神があなたを破壊する過程を通過するように導こうとするとき、あなたは神に同意しなければなりません。またあなたは何の恐れも持つ必要はありません。なぜなら、神はどのように苦難を分配するか知っているからです。...彼はこの目標を考慮に入れて、必ずそれぞれの人に選んで割り当てます。それは私たちの命の中で神聖な内容が増し加わるためです。もし彼が私たちに懲らしめるなら、それは常に、「益のために、私たちが彼の聖にあずかるようにと取り扱われるのです」。

適用: 青少年・学生、新人編

**証1** 私は、2011年12月に母親をガンで亡くしました。母子家庭でひとりっ子だったので、母親が亡くなってから完全に1人になってしまいました。バプテスマされる2013年9月までの約2年弱、精神的ショックを受けて、死人のような生活を送っていました。その間は今振り返ると、本当に苦しい期間でした。しかし、主に感謝します。私はこのような環境を通して、完全に失望したので、神を受け入れる道を主が備えてくださったと証することができます。また、クリスチャンになってからのこの11年間、在職生活、結婚、召会での奉仕、王子公園学生福音センターの購入等様々なことを経験しました。その度ごとに、主は、一步一步導いて、私の内側に神の命と性質を造り込んでくださいました。そして、復活のキリストを知り、経験し享受することを学ばせてくださいました。**証2** 以前勤めていた会社で、経営管理上の問題で、給料支払いが遅延し、経費精算もできなくなり、転職することになりました。未払い給料、経費、退職金、合わせて何百万円もの未払いがありました。経営者にお金がないので、どうしようもありませんでした。主はなぜ私にこのような苦難を与えるのかと、主に文句を言っていました。その時、主は私にローマ8:28を与えてくださいました。また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、わたしたちは知っています。

私の内側から、「そうです、主が私に苦難を与えるのは、私の自己が破壊されて、神ご自身が私の中に分与するためです。主に文句ではなく、ただ主を愛し、主を賛美しましょう」という声がありました。私はその声に従って行いました。その後、主は様々な方法で私を祝福してくださいました。主を賛美します。**祈り** おお主イエスよ、人生の中で様々な苦難に遭遇しますが、神は私に必要な苦難を割り当ててくださっています。神の子供である私にとって苦難の目的は、苦難を通して神の性質を私の性質の中へと造り込み、神を得させることです。患難を経過するとき、日ごとに私の中で継続的に思いが更新され、神ご自身が造り込まれますように。

**CP2** 召会は、**①** 御父の家、**②** まことのぶどうの木、**③** その霊の子供、新しい人であることを認識し、  
召会生活を尊び、第一とする

**I** 私たちは一粒の麦としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます **G** キリストは一粒の麦として、彼の命を解き放つ死と命を分与する復活を通して、すべての信者を、手順を経た三一の神との合併の中へともたしました。H キリストの復活の中で、手順を経た三一の神と再生された信者たちとの拡大された、神性と人性の、宇宙的な合併が、変貌し

た一粒の麦としてのキリストから生み出され、それには以下の三つの面があります：**1第一の面**は御父の家であり、御父の安息、満足、現れのためです：**a**キリストにあるすべての信者は、御父の家の中の住まいです。**b**御父の家が建造されるのは、御父と御子とその霊と共に、贖われた選びの民を絶えず訪れることによってです。ヨハネ14:23 イエスは彼に答えて言われた、「だれでも私を愛する者は、私の言を守る。そして私の父は彼を愛され、私たちは彼の所へ行って、彼と共に住まいを造る。私たちは家に、学校に、職場にいても、私たちがどこにいても、御父と御子は来て訪れ、私たちの中で建造する働きを行ない、住まいを造られます。それは、三一の神と私たちとの相互の住まいとなるでしょう。これが、三一の神が絶えず訪れることを通しての御父の家の建造です。**2第二の面**はまことのぶどうの木であり、神の拡大、広がり、栄光を現すことのためです：15:5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。**a**まことのぶどうの木は、すべてを含むキリストのしるしであり、手順を経て究極的に完成された三一の神の有機体です。**b**その接ぎ木された枝は神聖な命をもって再生され、十字架につけられ復活したキリストとの命の結合の中へともたらされ、手順を経て究極的に完成された三一の神と合併されました。**3第三の面**はその霊の子供、新しい人であり、神の永遠のエコノミーを完成します：**a**新しい子供、新しい人は、究極的に完成された霊によって生まれました。**b**私たちが思いの霊の中で更新されることによって新しい人を着ることは、最終的にキリストのからだを究極的に完成し、このキリストのからだは新エルサレムを究極的に完成します。

### 適用:ビジネスパーソン編

**証** 召会は、死と復活を経て、変貌した一粒の麦としてのキリストから生み出され、**①**御父の家であり、**②**まことのぶどうの木であり、**③**その霊の子供、新しい人であることを認識することで、私の召会生活が引き上げられたことを証します。私はヨハネ14～16章の御言葉を読んだり、詩歌616などの詩歌を歌って賛美していると、三一の神が私を訪れてくださり、召会に関するビジョンが更新されました。

1. 主よ、なが住まいである召会を愛する!

それは主の喜び、また我の安息。

召会が御父の家であるとは、御父の安息、満足、現れのための場所であるという意味です。これは、私が正常な召会生活をすれば、神は私たちの間で、安息し、満足し、表現されるということに

なります。このことを考えると、私を永遠の愛で愛してくださった神に、安息と満足を提供することができることになるので、内側に甘さを感じました。そして私の召会生活は栄光なものであるとの感覚を持ち始めました。同時に、召会生活をいい加減に扱ってはいけないとの畏敬の感覚が出てきました。私は信仰によって、十字架を経験し、自分自身の安息の優先順位を下げ、まず神の安息を求めました。例えば、仕事がどんなに忙しくても、福音と牧養のために残業を制限し、週末は100%主のために用いました。しかし、そのことで会社をクビになったり、会社での立場が悪くなったりすることはありませんでした。むしろ、キリストと召会を優先順位No.1にすることで、私の会社での立場は祝福され、収入も祝福されました。マタイ6:33 むしろ、まず父の王国と父の義を求めなさい。そうすれば、これらの物はすべて、あなたがたに加えられる。そして御父が安息される時、私は真の安息を持つことができました。私はこのように主と会話している時に、主が私を訪れ、ご自身を分与することを享受しました。主イエスよ、あなたが私を訪れ、あなたの愛で私を引き寄せてください。私は自分の天然の愛によってではなく、あなたの永遠の愛をもってあなたを愛し、あなたの住まい、召会を愛します!

また、召会はまことのぶどうの木であるので、福音を伝え、実を結び、神の拡大、広がり、栄光を現すことができるべきです。この面について、私は神戸に在る召会が1992年4月に3名で集会を始め以来、毎年、増し加わりがあるかどうかを注意深く見てきました。増し加わりがない時に、主の御前に出て、照らされ、罪を告白し、献身を更新しました。このように主と交わっている時、私は主の分与を受けて、力付けられ、牧養を強化することができました。枝である私は、主の中に住み、毎年少しずつ実を結ぶことができました。主イエスよ、召会の福音の宣べ伝えを祝福してください! 私たちに必ず、新しい実を得させてください!

第三に召会は、その霊の子供、新しい人であり、神の永遠のエコノミーを完成します。ローマ12:2 またこの時代の様にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわかまえるようになるためです。主イエスよ、私の思いをあなたに開きます。日ごとに私の思いの中に入り、浸透し、更新してください! 私の思いを天然の中に、古さの中に留めないでください。更新された思いをもって、御心を理解し、遂行することができますように!